

焼き場に立つ少年



アメリカ合衆国のカメラマン、ジョー・オダネルが1945年に撮影したとされる写真。

10歳くらいと思われる少年が、口を固く結びながらまっすぐに立ち、視線をまっすぐ前に向けている。少年は、目を閉じた幼児を背負っている。この幼児は少年の弟で、すでに息を引き取っており、少年は火葬の順番を待っているものとされる。

2007年7月、長崎県美術館で催された展示会で、『焼き場に立つ少年』が特別展示される。同年10月、『焼き場に立つ少年』が長崎市に寄贈され、長崎原爆資料館に展示される。2017年の年末、ローマ教皇のフランシスコが、この写真を印刷したカードを、署名と「戦争がもたらすもの」という言葉を添えて、世界の教会に配布するように指示を出す。